

## 第2部 種別ごとにみる事故

ここでは、日常生活における事故を「ころぶ」「落ちる」「ぶつかる」「ものがつまる・ものが入る・誤って飲み込む（ものがつまる等）」「切る・刺さる」「はさむ・はさまれる」「やけど」「かまれる・刺される」「おぼれる」の種別ごとに取り上げています。最も多いのは「ころぶ」事故で、全体（※その他、不明を除く）の68.9%となっています（図2-1）。

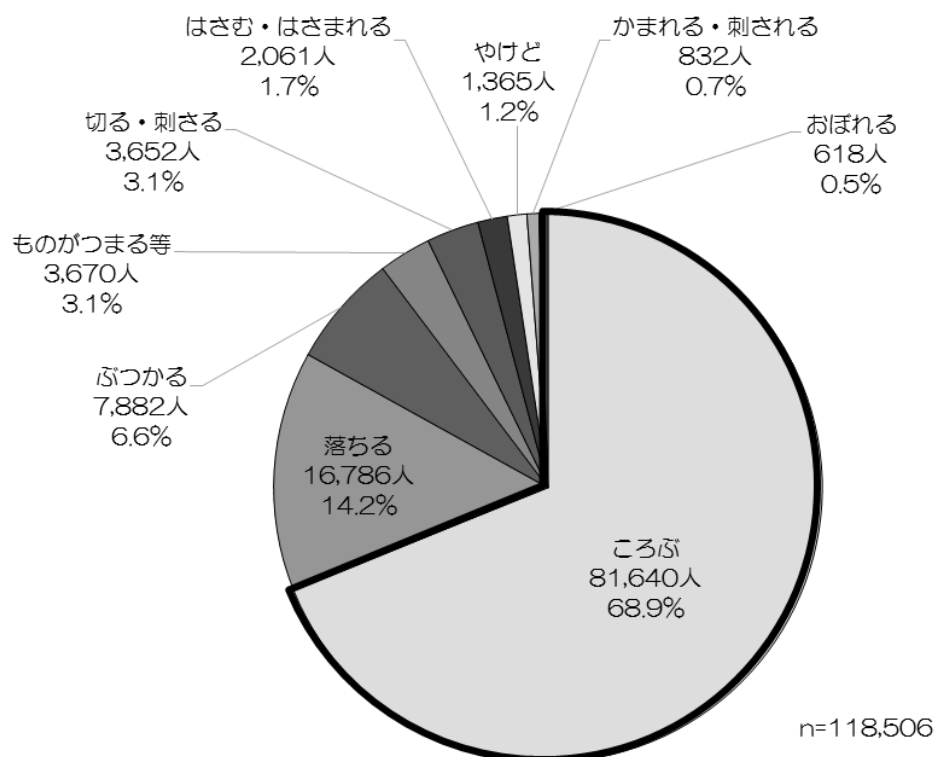


図2-1 事故の種類別構成割合（その他、不明を除く）

※熱中症は事故種別「その他」に該当します。（P.11 ピックアップ2）

種別ごとにみると、事故は年代によって特徴があります。乳幼児は他の年代に比べ、ものがつまったり、ものを誤って飲み込む事故の割合が多く、また、やけどの割合も多くなっています。10代ではぶつかる事故の割合が多くなっています。また、高齢になるにつれて「ころぶ」事故の割合が増えています（図2-2、図2-3）。

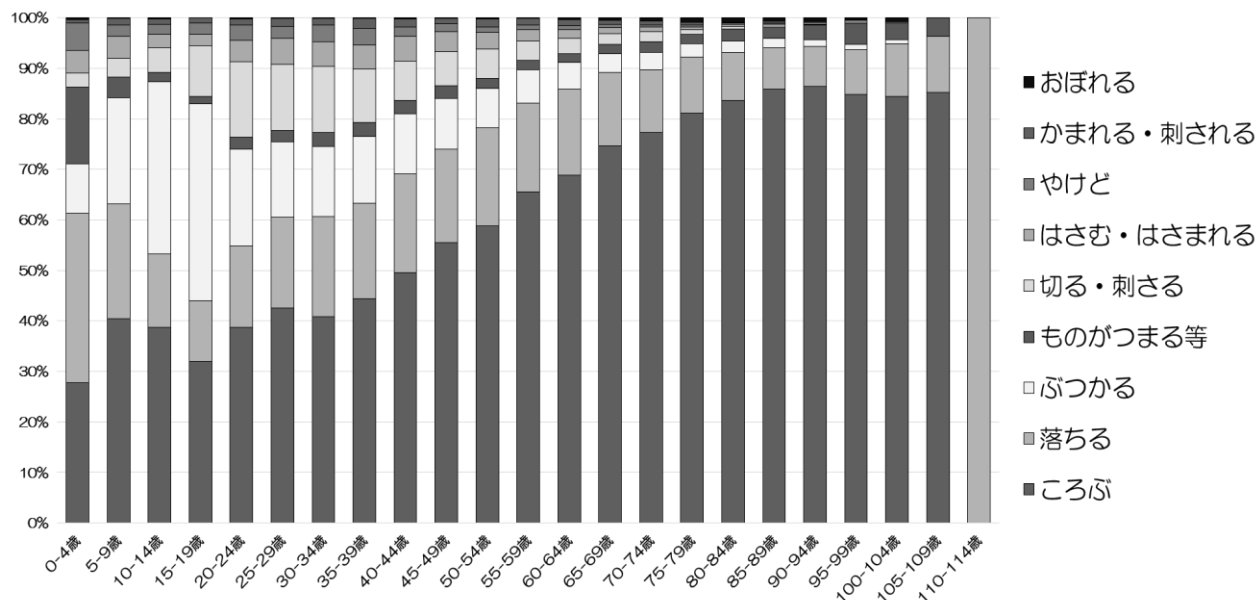


図2-2 年齢別の事故の種類別構成割合（その他、不明を除く）

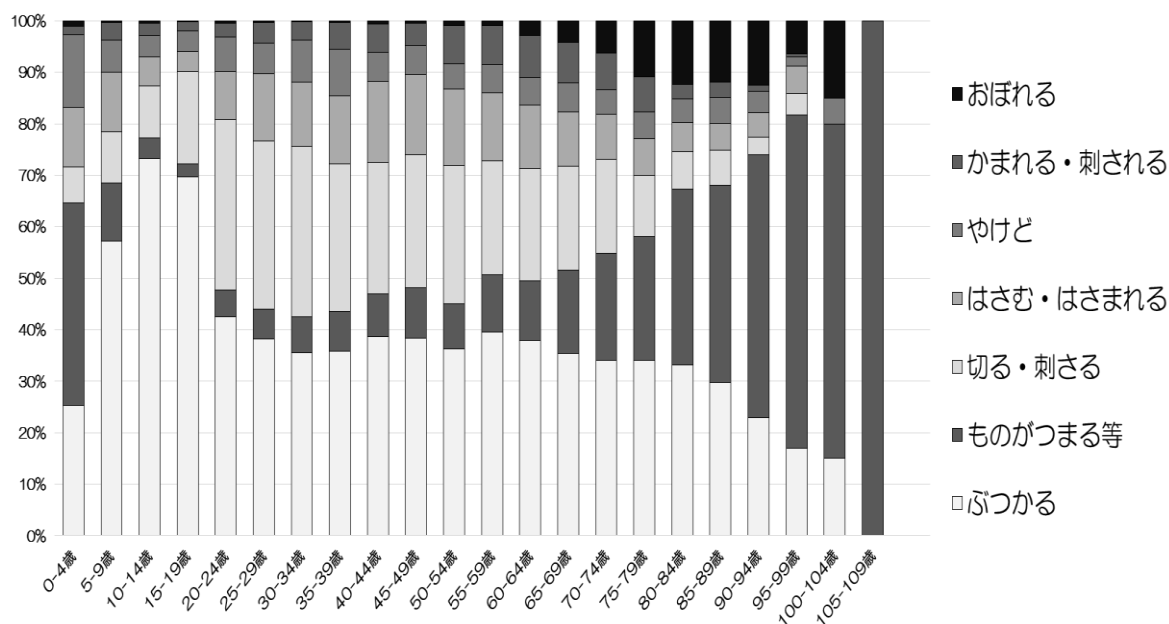


図2-3 年齢別の事故の種類別構成割合（ころぶ、落ちる、その他、不明を除く）

# 1. ころぶ

## (1) 年別搬送人員

「ころぶ」事故は日常生活における事故の中で最も多く、令和元年中は81,640人が救急搬送されています（図2-4）。

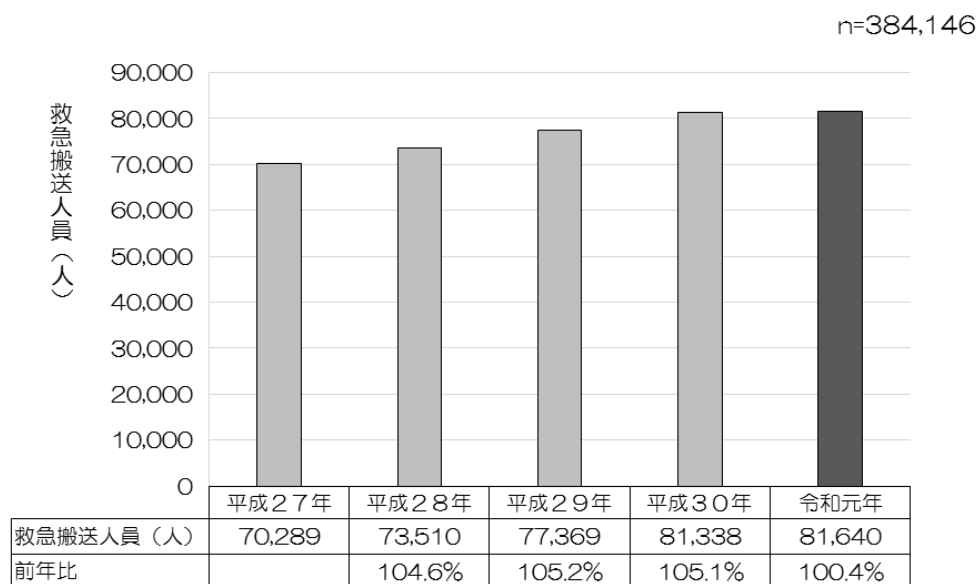


図2-4 年別の救急搬送人員

## (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、65歳以上の高齢者が多く救急搬送されています（図2-5）。

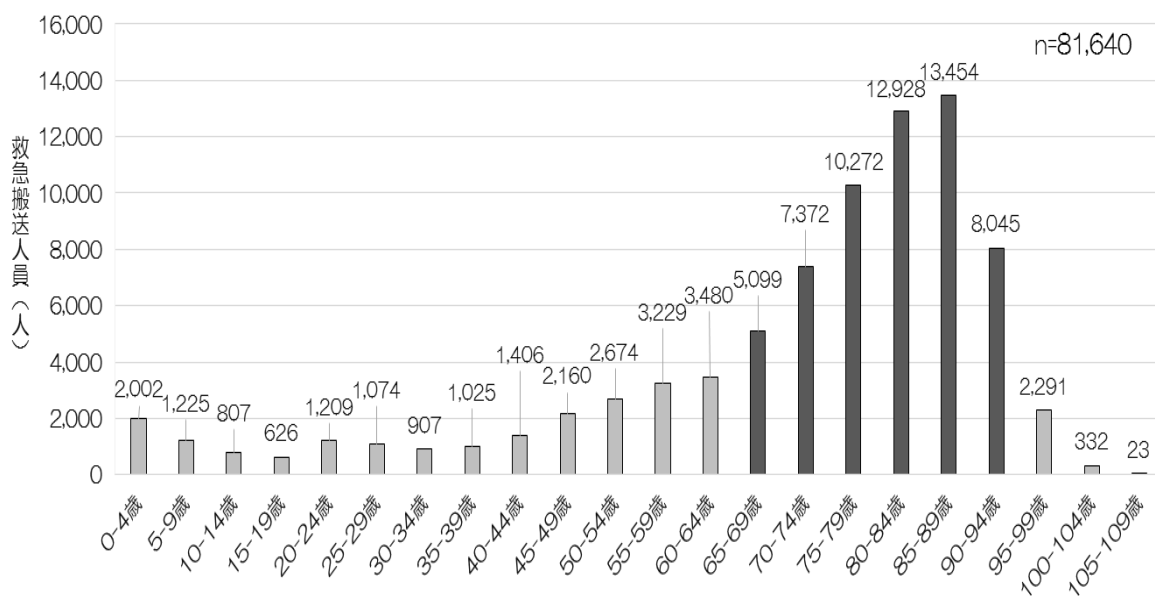


図2-5 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が最も多く、次いで道路・交通施設となっています（図 2－6）。

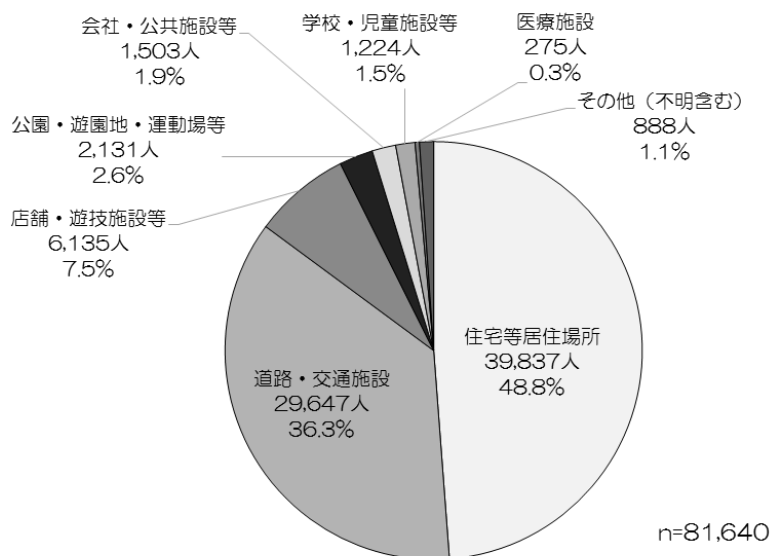


図 2－6 発生場所別救急搬送人員

### (5) 初診時程度別搬送人員

「ころぶ」事故では、3割を超える人が中等症以上と診断されています（図 2－7）。

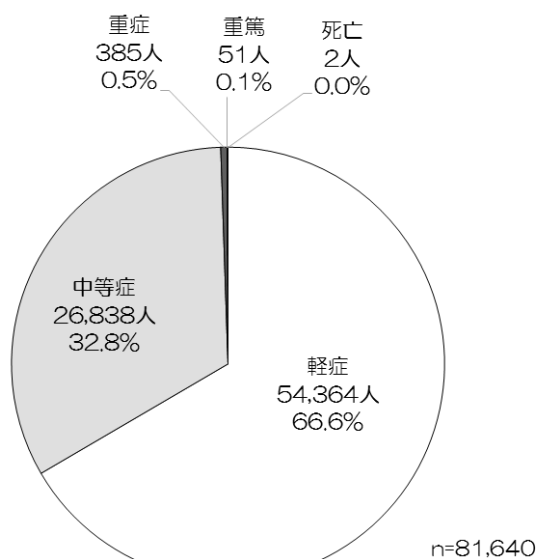


図 2－7 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 ころぶ】

自宅でトイレに行こうとした際に、床で足を滑らせて転倒し、動けなくなった（90代 中等症）。

## 2. 落ちる

### (1) 年別搬送人員

階段や脚立などから「落ちる」事故で、令和元年中に16,786人が救急搬送されています（図2-8）。

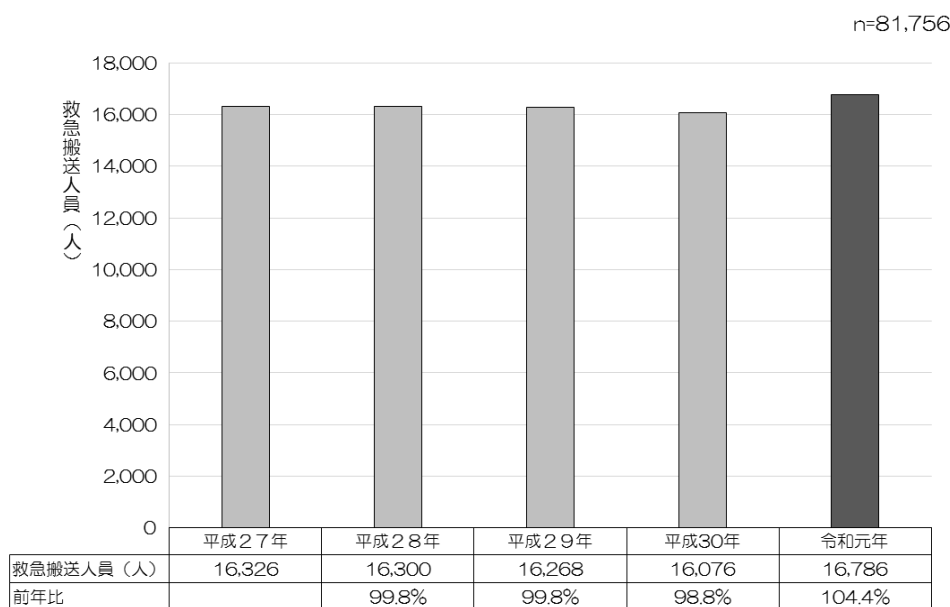


図2-8 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳が最も多く、2,446人が救急搬送されています（図2-9）。

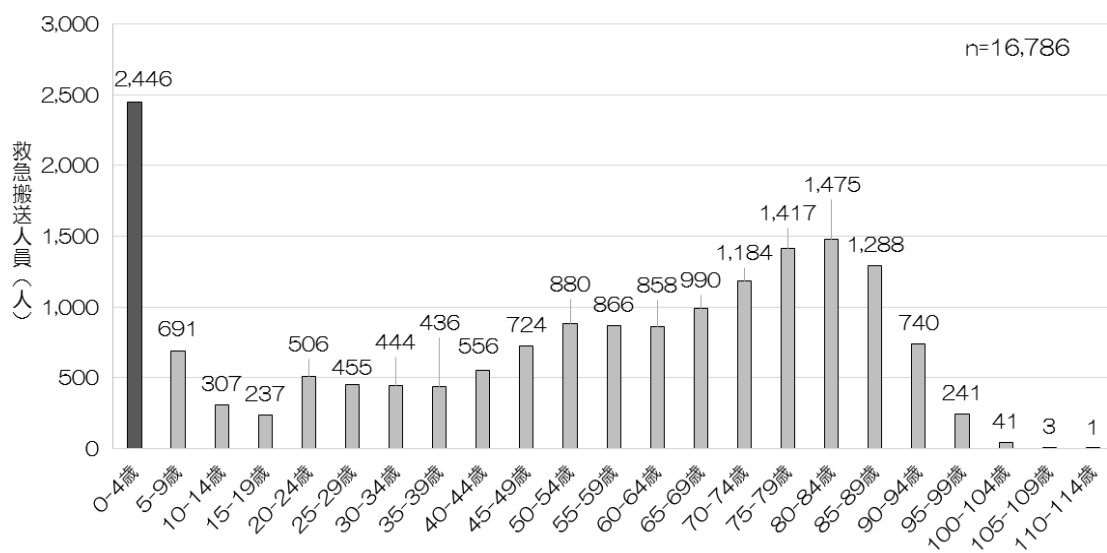


図2-9 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が最も多く半数以上となっています。次いで、道路・交通施設、店舗・遊技施設等で多く発生しています（図 2-10）。

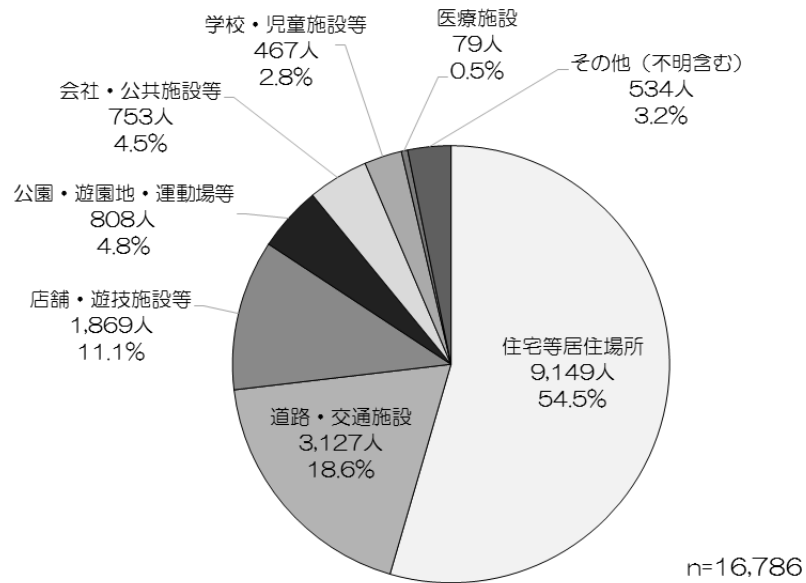


図 2-10 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

「落ちる」事故では、3割を超える人が中等症以上と診断されています（図 2-11）。

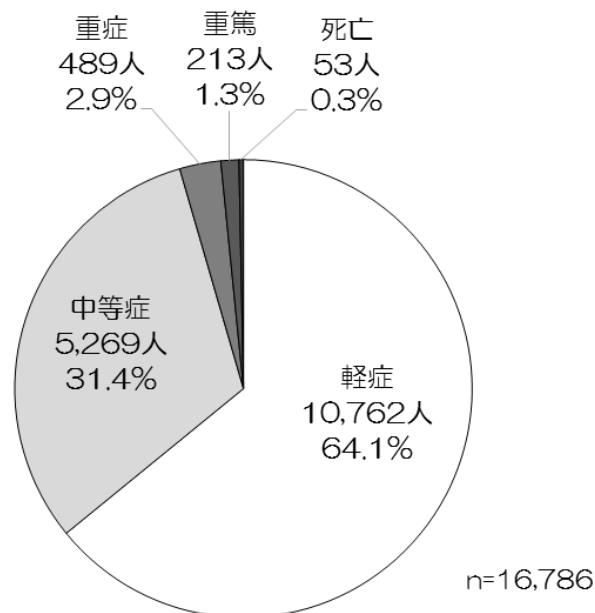


図 2-11 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 落ちる】

自宅2階のベランダに置いてあったベビーカーに乗り、ベランダの柵を乗り越えて屋外の芝生に転落した（1歳 中等症）。

### 3. ぶつかる

#### (1) 年別搬送人員

飛んできたボールに「ぶつかる」事故や、走っていて人やものに「ぶつかる」事故で、令和元年中に7,882人が救急搬送されています（図2-12）。

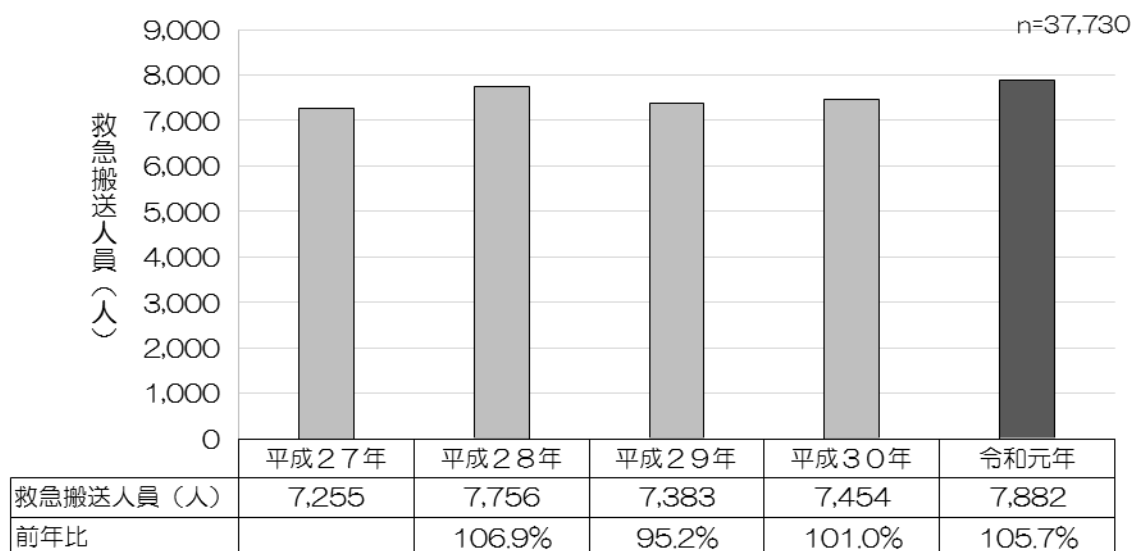


図2-12 年別の救急搬送人員

#### (2) 年齢層別搬送人員

最も多いのは、15歳から19歳となっており、14歳以下も多く救急搬送されています。「ぶつかる」事故は、加齢とともに減少しています（図2-13）。

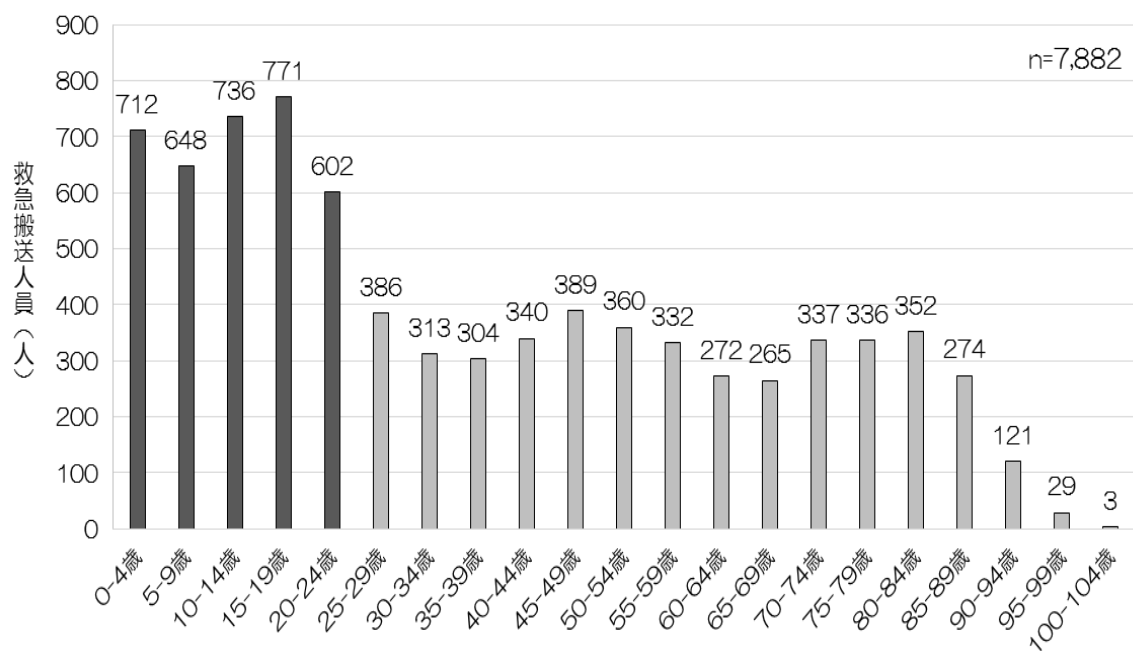


図2-13 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が最も多く、次いで、公園・遊園地・運動場等や道路・交通施設での事故が多く発生しています（図 2-14）。

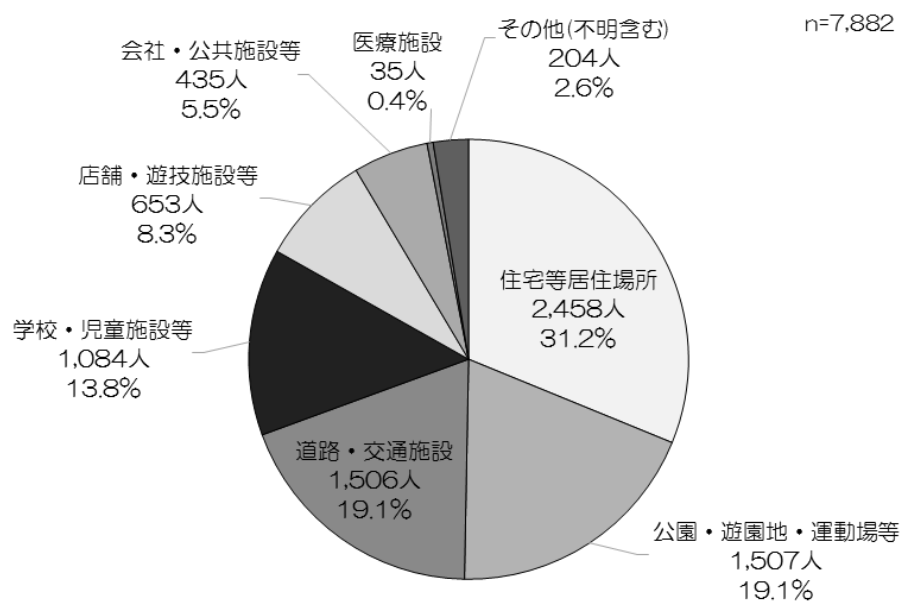


図 2-14 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

全体の8割を超える人が軽症ですが、重症や重篤、死亡と診断される事故も発生しています（図 2-15）。

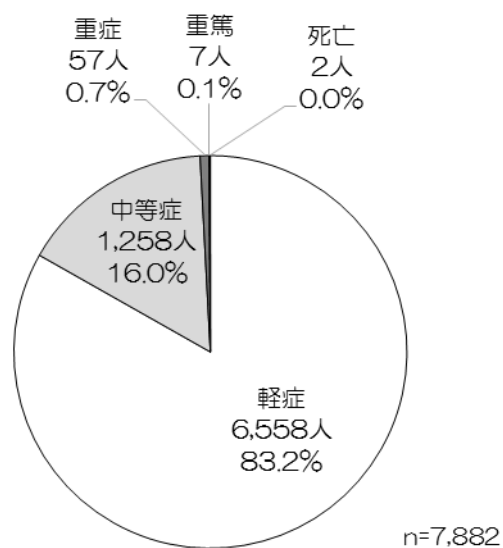


図 2-15 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 ぶつかる】

サッカーの練習試合中に、他の選手と接触し頭部を受傷した（10代 中等症）。



## 4. ものがつまる・ものが入る・誤って飲み込む

### (1) 年別搬送人員

食べ物を喉につまらせたり、たばこや玩具などを飲み込んでしまう事故により、令和元年中は3,670人が救急搬送されています（図2-16）。

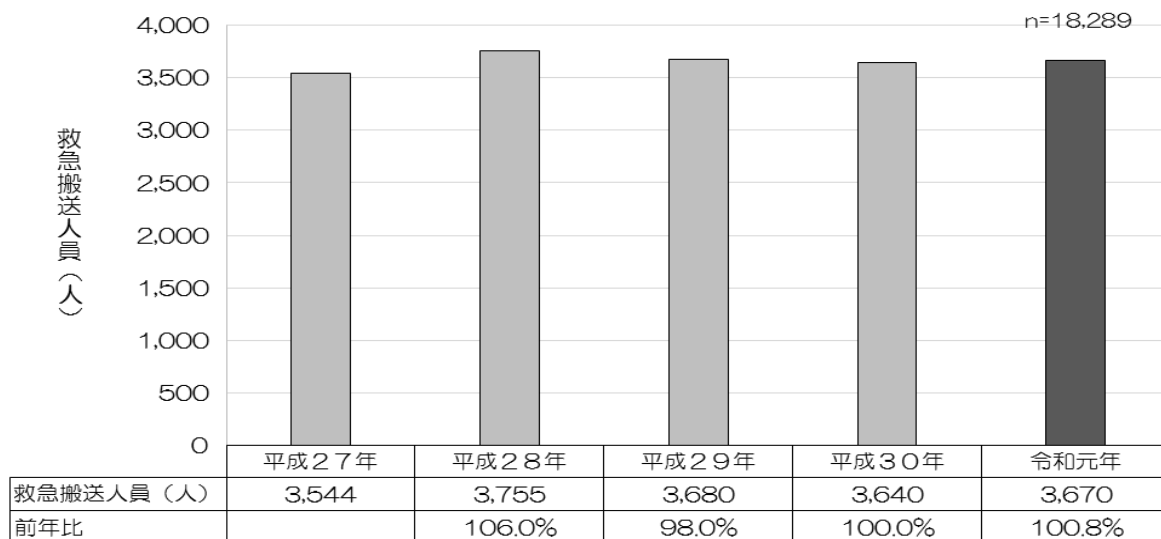


図2-16 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳が最も多く、1,108人が救急搬送されています（図2-17）。

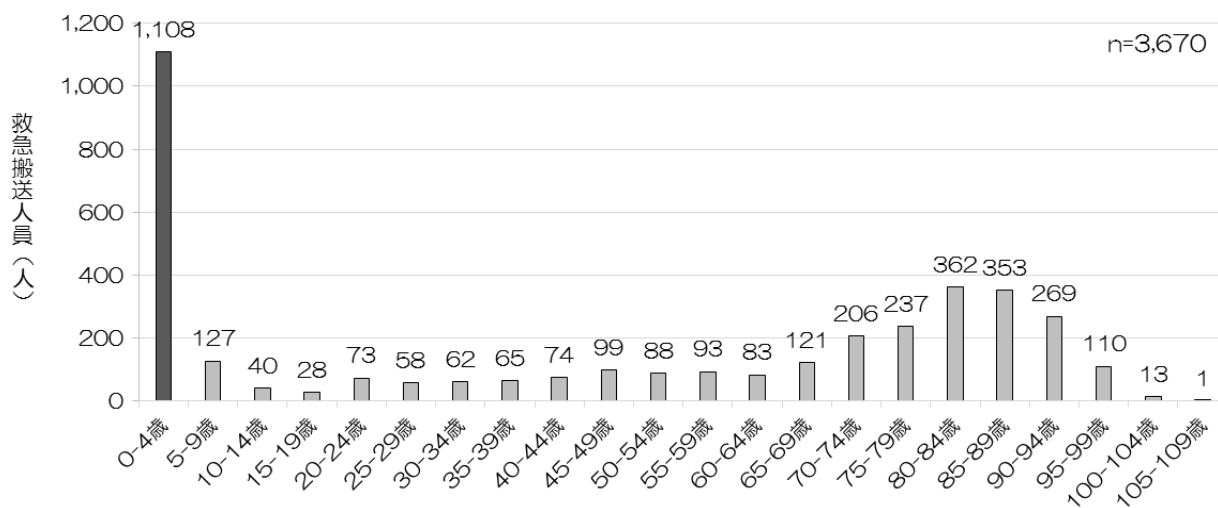


図2-17 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が8割以上と最も多く、次いで、店舗・遊技施設等が多くなっています（図2-18）。

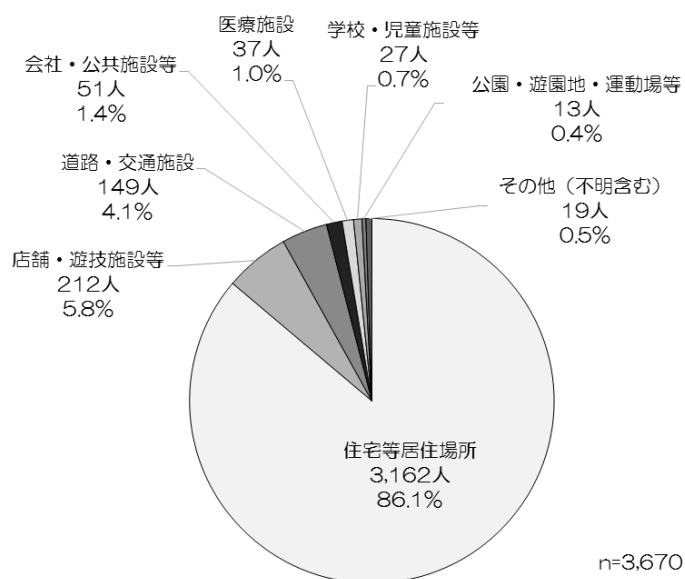


図2-18 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

「ものがつまる等」の事故では、約3割を超える人が中等症以上と診断されています（図2-19）。

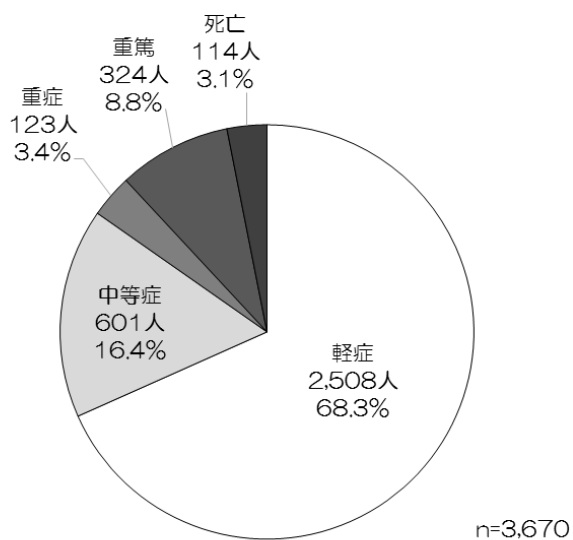


図2-19 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 ものがつまる】

食事中に、おにぎりを喉に詰まらせて倒れ、反応がなくなった（70代 重篤）。

## 5. 切る・刺さる

### (1) 年別搬送人員

刃物で切ったり、何かが刺さったりする事故で、令和元年中に3,652人が救急搬送されています（図2-20）。

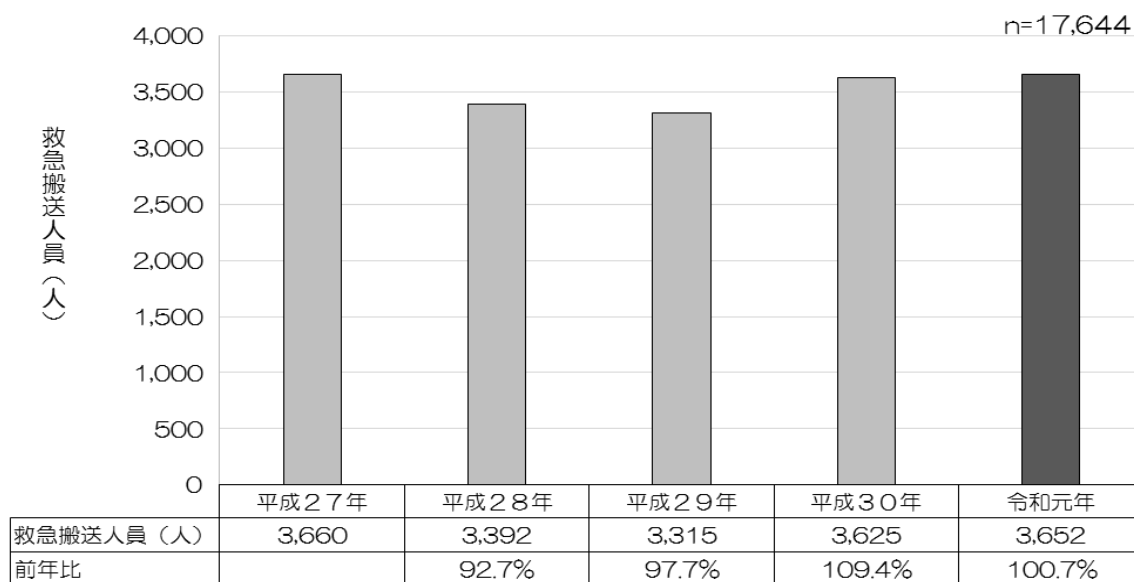


図2-20 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、20歳代での救急搬送人員が多くなっています（図2-21）。

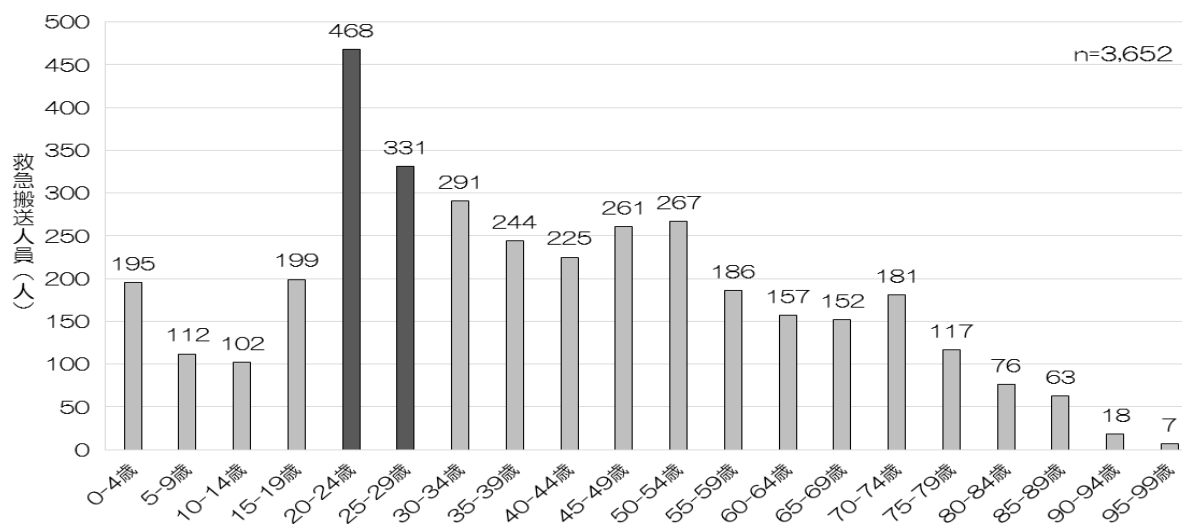


図2-21 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が最も多く約6割を占めており、次いで店舗・遊技施設等、会社・公共施設等が多くなっています（図2-22）。

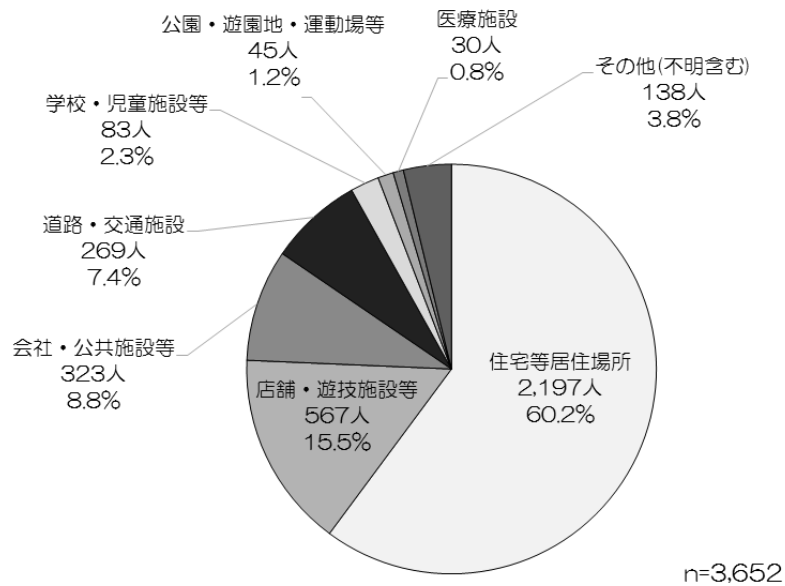


図2-22 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

「切る・刺さる」事故では、全体の1割を超える人が中等症以上と診断されます（図2-23）。

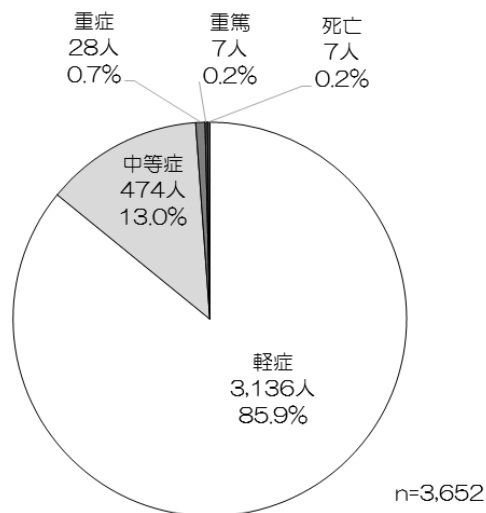


図2-23 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 切る】

建築現場にて電動のこぎりを使用して作業中に、誤って指を切創した（20代 中等症）。

## 6. はさむ・はさまれる

### (1) 年別搬送人員

ドアや機械、鉄道車両の戸袋などにはさまれたり巻き込まれたりする事故で、令和元年中に2,061人が救急搬送されています（図2-24）。

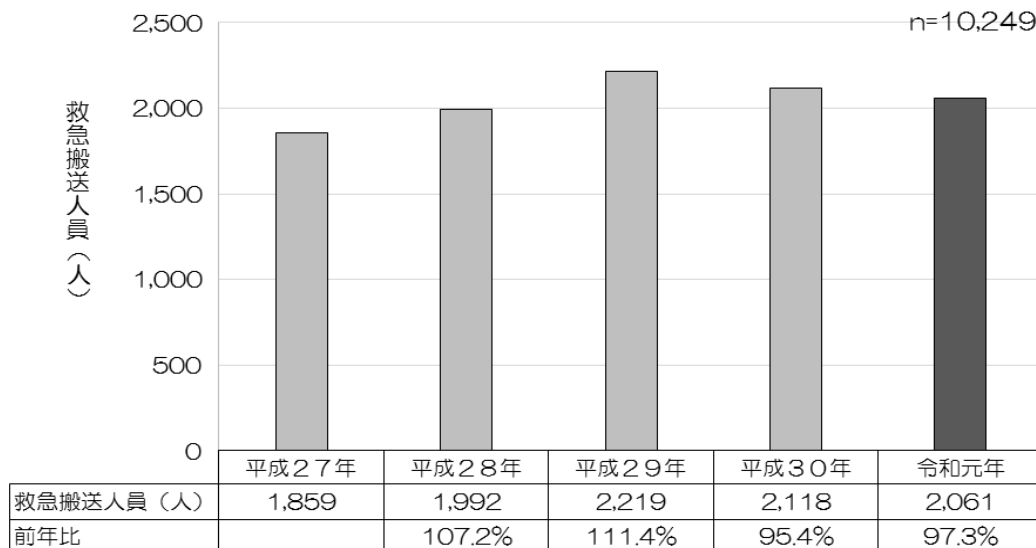


図2-24 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳が最も多く326人が救急搬送されます（図2-25）。

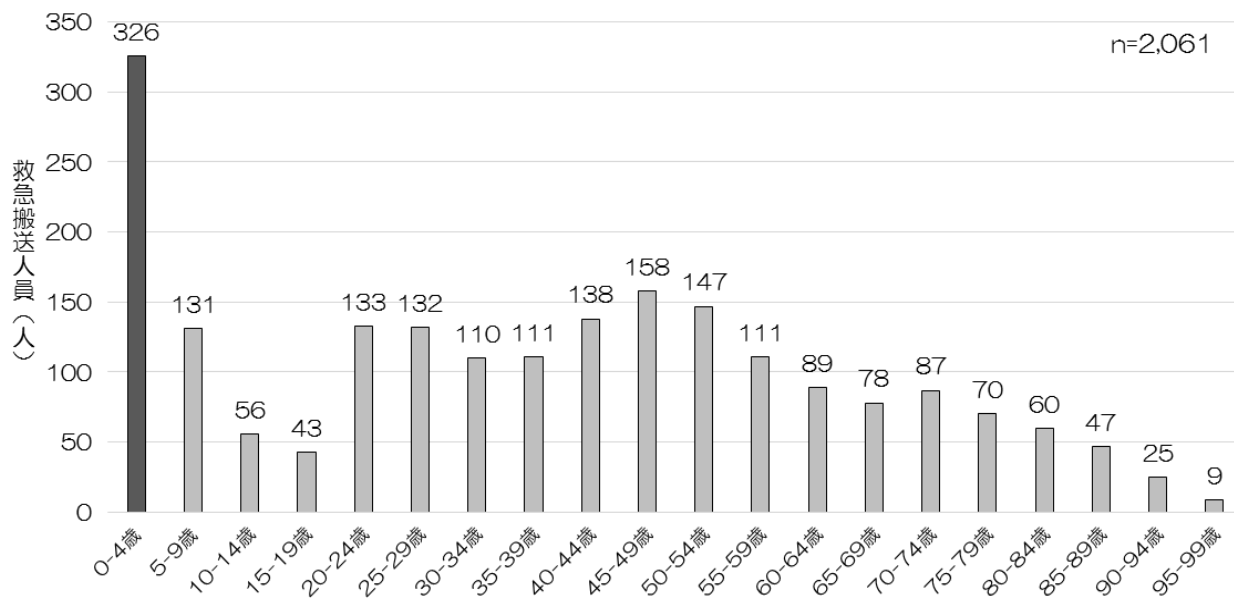


図2-25 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が約3割以上と最も多く、次いで会社・公共施設等や道路・交通施設でも多く発生しています（図2-26）。

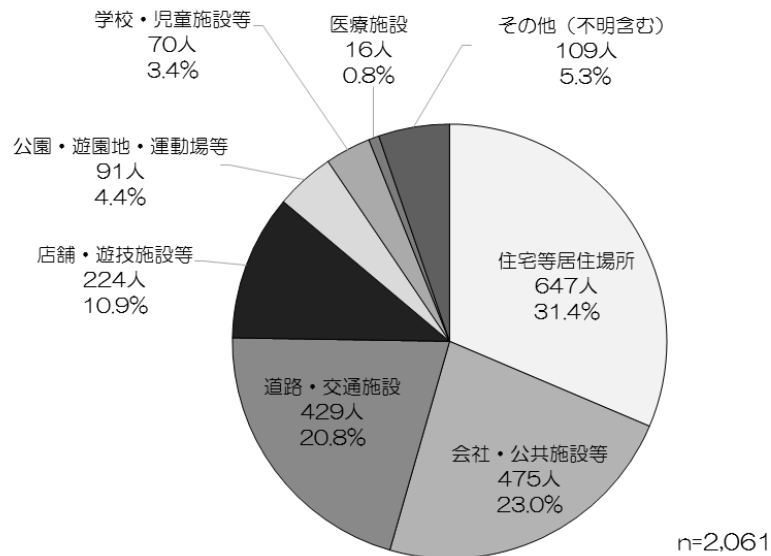


図2-26 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

「はさむ・はさまれる」事故では、約3割が中等症以上と診断されています（図2-27）。

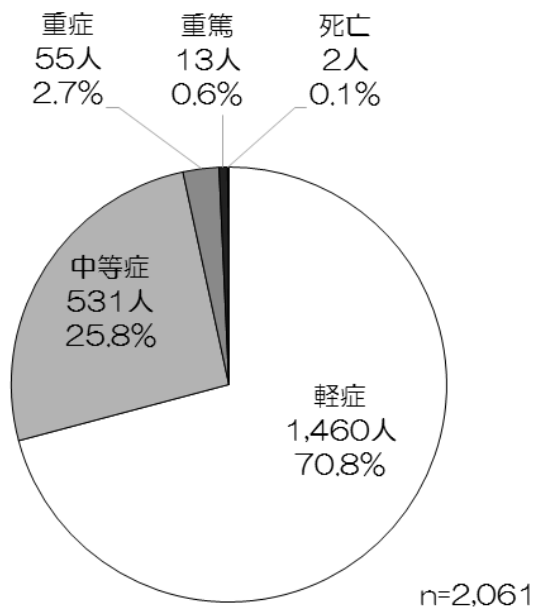


図2-27 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 はさまれる】

ベビーカーに子どもを乗せて電車に乗車中、ドアが開いた際に子どもの足が戸袋にはさまれた（0歳 軽症）。

## 7. やけど

### (1) 年別搬送人員

熱湯や天ぷら油等によるやけどで、令和元年中に1,365人が救急搬送されます（図2-28）。

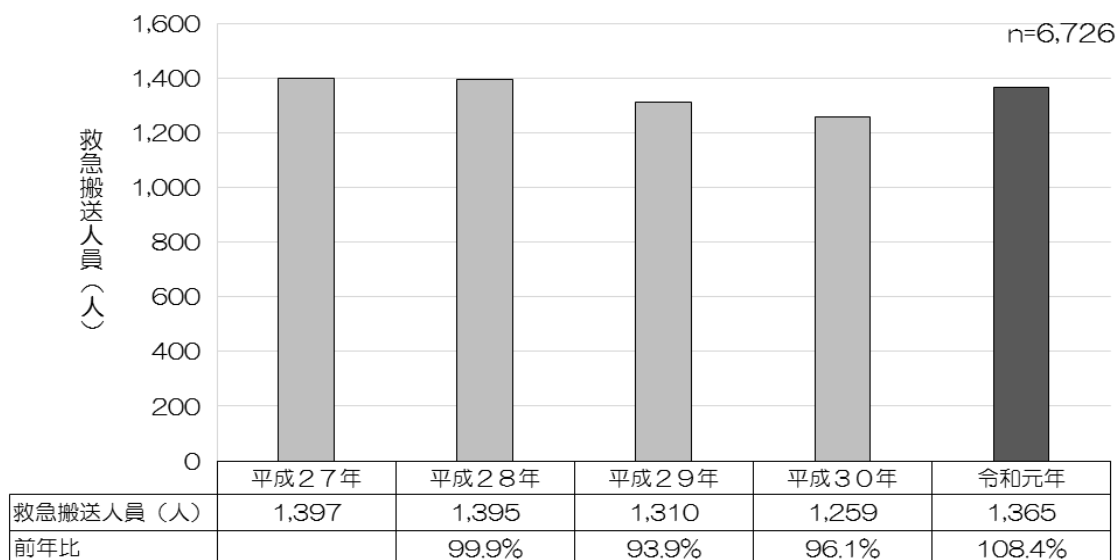


図2-28 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳が最も多く、397人が救急搬送され、全体の約3割以上を占めています（図2-29）。

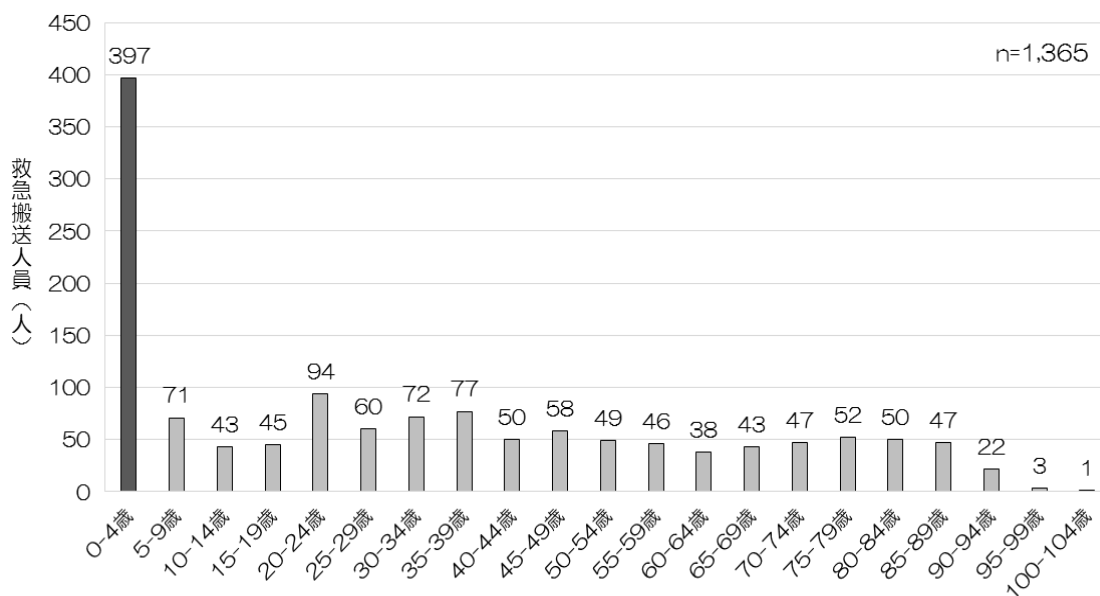


図2-29 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所の割合が最も多く、7割以上となっています（図2-30）

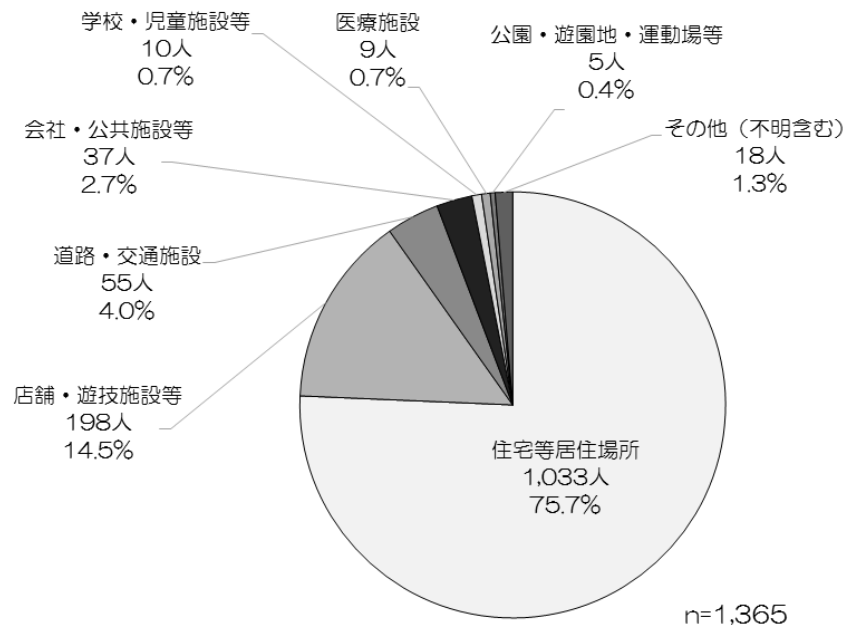


図2-30 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度では、約2割が中等症以上と診断されています（図2-31）。

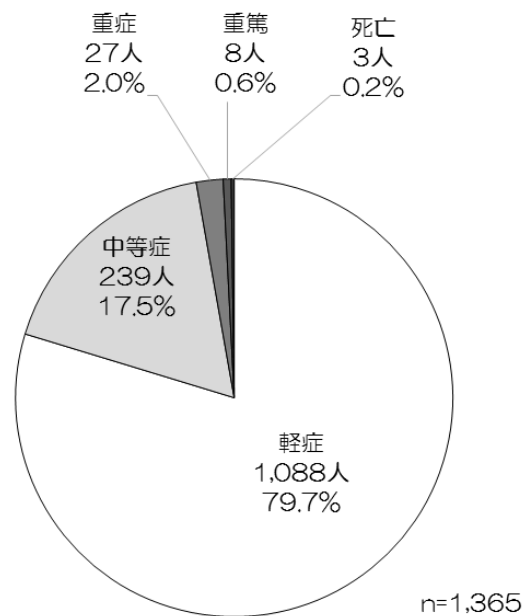


図2-31 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 やけど】

テーブルの上に置いてあったインスタント味噌汁を倒してしまい、テーブルから垂れてきた味噌汁でやけどした（1歳 重症）。



## 8. かまれる・刺される

### (1) 年別搬送人員

犬にかまれる、蜂に刺される等で、令和元年中に832人が救急搬送されています（図2-32）。

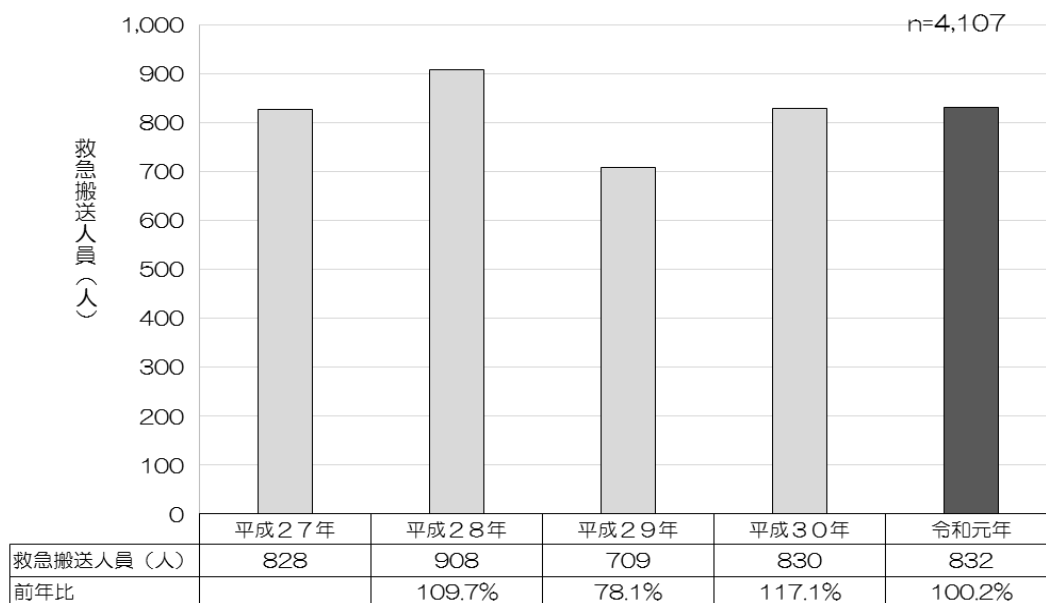


図2-32 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、50歳から54歳と70歳から74歳が70人以上と多くなっています（図2-33）。

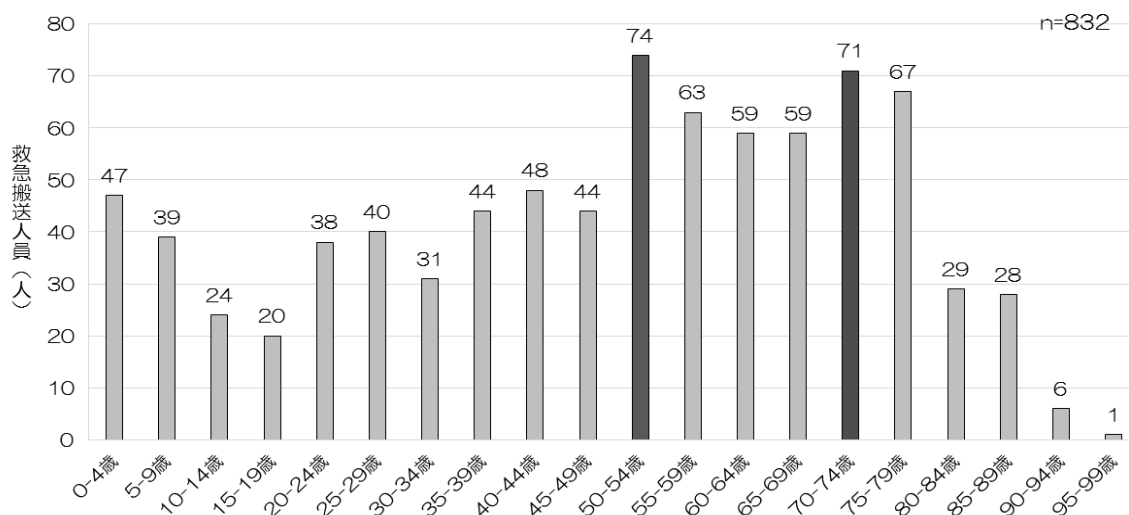


図2-33 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

発生場所別にみると、住宅等居住場所が多く、次いで、道路・交通施設が多くなっています（図 2-34）。

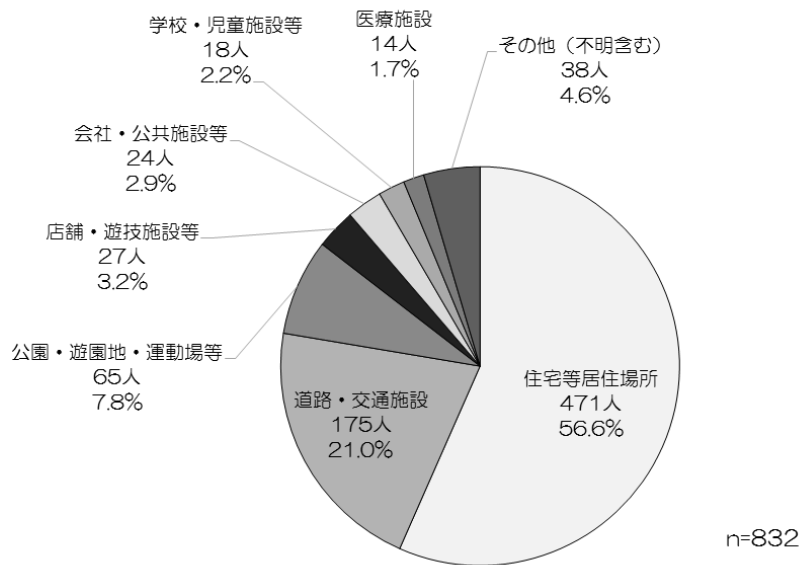


図 2-34 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

軽症が約9割を占めていますが、中等症と診断される事故も発生しています（図 2-35）。

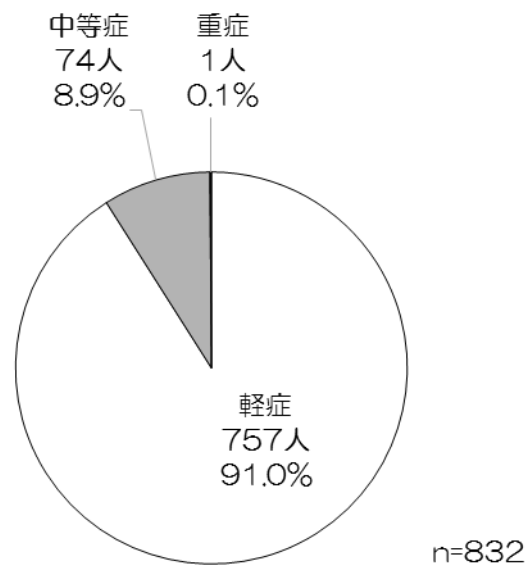


図 2-35 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 刺される】

自宅の庭で植木の剪定中に、蜂に刺された（60代 中等症）。

## 9. おぼれる

### (1) 年別搬送人員

浴槽や海、河川等での事故で、令和元年中は618人が救急搬送されています（図2-36）。

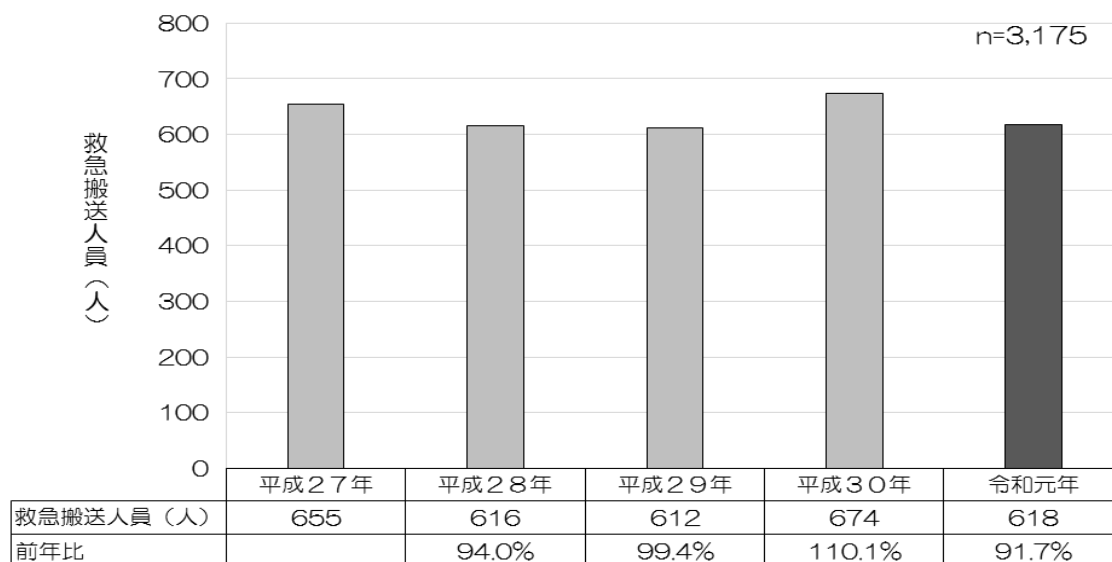


図2-36 年別の救急搬送人員

### (2) 年齢層別搬送人員

「おぼれる」事故は、乳幼児、高齢者に多く発生しています（図2-37）。

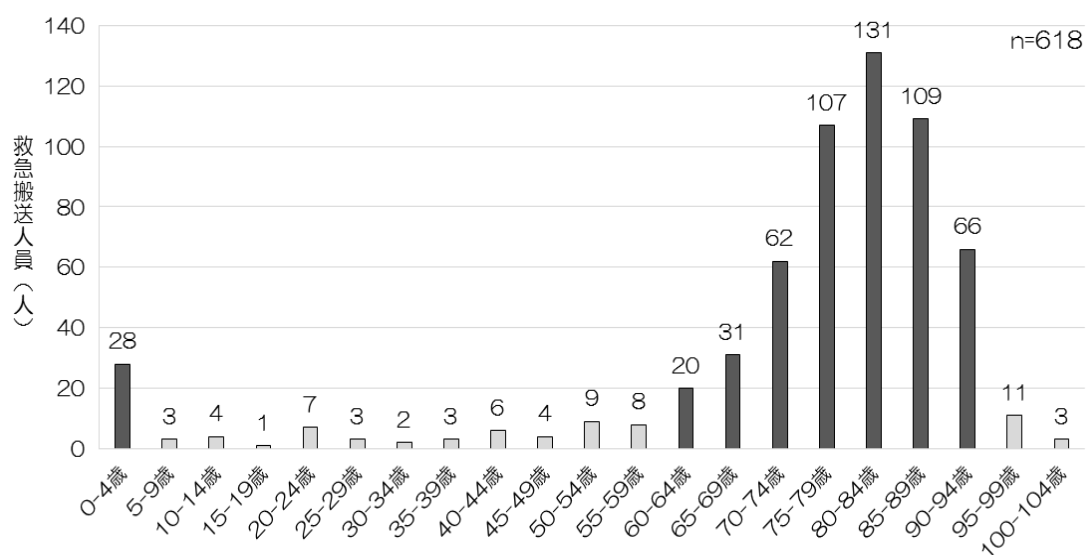


図2-37 年齢層別救急搬送人員

### (3) 発生場所別搬送人員

「おぼれる」事故の発生場所は、住宅等居住場所が8割以上で最も多くなっています（図2-38）。

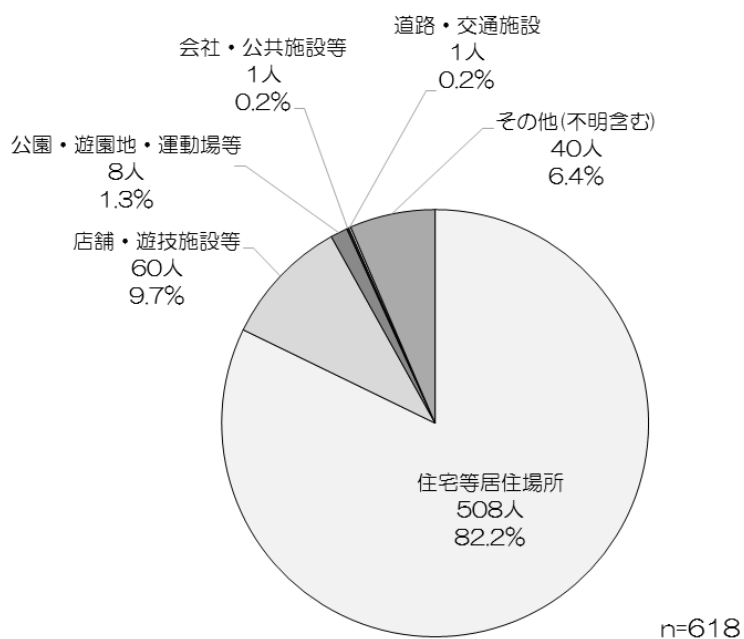


図2-38 発生場所別救急搬送人員

### (4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別にみると、9割以上が中等症以上と診断されており、さらに約8割が重篤又は死亡と診断されています（図2-39）。

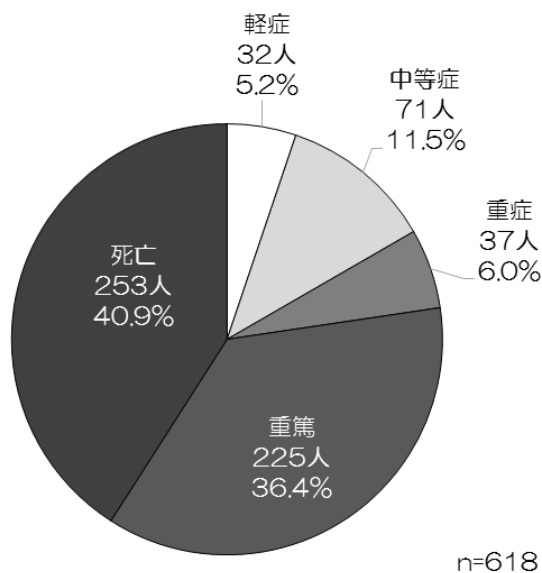


図2-39 初診時程度別救急搬送人員

#### 【事例 おぼれる】

入浴後、風呂から出てこないため心配し様子を見に行くと、浴槽内で顔を水没させ意識の無い状態で見つかった（80代 重篤）。